

| |
|------------|
| 日本標準商品分類番号 |
| 872331 |

消化酵素剤

日本薬局方 ジアスターゼ

ジアスターゼ「ホエイ」

Diastase

貯 法：気密容器に入れ、
 30℃以下で保存
 使用期限：3年
 (容器に表示の使用期限内
 に使用すること)

| | |
|-------|---------------|
| 承認番号 | 16000AMZ06270 |
| 薬価収載 | 1950年9月 |
| 販売開始 | 1952年8月 |
| 再評価結果 | 1983年4月 |

【禁忌 (次の患者には投与しないこと)】

本剤に対し過敏症の既往歴のある患者

【組成・性状】

組成

| | |
|----------------|--------------|
| 販 売 名 | ジアスターゼ「ホエイ」 |
| 成分・含量 (1g中) | 日局 ジアスターゼ 1g |

製品の性状

本剤は淡黄色～淡褐色の粉末である。

【効能・効果】

主として炭水化物の消化異常症状の改善

【用法・用量】

通常、成人にはジアスターゼとして、1回0.3～0.5gを1日3回食後に経口投与する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

1. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

| 種類 | 頻度 | 頻度不明 |
|--------------------|-----------|------|
| 過敏症 ^(注) | 過敏症状(発疹等) | |

注)このような症状があらわれた場合には投与を中止すること。

【薬効薬理】

麦芽ジアスターゼ中には α 、 β の両アミラーゼがある。でんぷんに対しては両者が共同で作用すると考えられる。 β -アミラーゼによる生成物である β -限界デキストリンも α -アミラーゼにより分解され、その生成物は再び β -アミラーゼによって分解される。終局生成物は主として麦芽糖であるが、その他はグルコースやマルトトリオースなどの低級デキストリンである。しかし普通分解は麦芽糖として75～80%までしかすすまない。植物性アミラーゼの最適pHは弱酸性(4.5～5.5)で比較的広い範囲を持つが、強酸や強アルカリ性では作用しないだけでなく破壊されてしまう。したがって本薬は、胃中において食物がまだじゅうぶんに胃液と混合し強酸性にならないうちに作用するものと思われる。そのため各種の制酸剤を配合することが行われているが、じゅうぶんな効果は期待できない。制酸剤その他配合薬品の影響については竹内その他の報告がある。しかしジアスターゼの効力を測定するとき配合制酸剤を中和するのに塩酸を用いると効力が低くなるので注意を要する。ジアスターゼに有機酸のカルシウム塩を添加すると、かなり強い酸度のでんぷん液に対しても効力を発揮するという。動物性アミラーゼと異なり塩素イオンによっては活性化されない。 α -アミラーゼはカルシウムイオンによって保護される。

【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：〔日局〕ジアスターゼ (Diastase)

本 質：主として麦芽から製したもので、でんぷん消化力がある酵素剤である。

性 状：本品は淡黄色～淡褐色の粉末である。
 本品は吸湿性である。

【取扱い上の注意】

配合変化：強酸又は強アルカリにより失活する。

【包 装】

500g 1kg

※※【文献請求先】

ヴィアトリス製薬株式会社 メディカルインフォメーション部
 〒105-0001 東京都港区虎ノ門5丁目11番2号
 フリーダイヤル 0120-419-043

※※製造販売元

マイランEPD合同会社
 東京都港区虎ノ門5丁目11番2号

※※販売元

ヴィアトリス製薬株式会社
 東京都港区虎ノ門5丁目11番2号